

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S19	施策名	老人憩の家の利活用と管理方法の見直し
担当部課	福祉部長寿課	関係部課	財政課、子ども家庭課、たつせがある課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみよう」でつながるまち
	行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市老人憩の家の設置及び管理に関する条例、同施行規則
施策開始の背景、経緯等	施設の老朽化が進む中で、使用頻度が少ない地域や近接する地域集会所との利用の棲み分けができておらず、有効活用を検討する必要性が生じている。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 市内に7カ所ある老人憩の家は、高齢者の心身の健康増進を目的に整備されたが、対象者が限定的であり、使用頻度も低いことから、多世代が多様な目的に利用できる地域の交流の場として活用することができるようにする。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 「65歳以上の高齢者」以外の世代、老人憩の家
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 多世代が多目的に利用することができる地域の交流の場とし、施設の稼働率を向上させる。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討、施設維持管理費の削減、利用率の拡大				
		R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		楓憩の家での子ども学習支援の実施	老人憩の家と他施設との統廃合に向けた検討、地域及び担当課との調整	老人憩の家と他施設との統廃合に向けた検討、地域及び担当課との調整	新たな方策による管理の実施	新たな方策による管理の実施
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		市民参加数・実績(延べ) 190 人	市民参加数・見込み(延べ) — 人	市民参加数・見込み(延べ) — 人	市民参加数・見込み(延べ) — 人	市民参加数・見込み(延べ) — 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討、施設維持管理費の削減、利用率の拡大				
		R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		市民参加数・実績(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 公共施設マネジメント推進作業部会にて、老人憩の家の利活用について取り上げ、検討を実施した。楓老人憩の家でH29からR2まで、毎週土曜日にひとり親等の小学生を対象に子ども学習支援を実施した。(R2 41回延べ190人)
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は一時閉館や利用定員の規制を行ったため、通常どおりの運用ができておらず、具体的な有効活用の検討に着手できていない。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 駐車場が十分に確保されている施設がなく、利用を呼びかける対象範囲が限定される。老人憩の家の管理を委託し日常的に使用しているシニアクラブとの綿密な調整が必要となる。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) ①利活用と管理形態の変更により、改修費などが発生する可能性がある。 ②集会所等地域の施設を統廃合することにより、公共施設に掛かる費用の削減に繋がる。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 集会所と隣接している老人憩の家の統廃合を行うため、令和3年度から使用者や管理者から聞き取りを行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・「今後の方向性、改善点」にあるとおり、他施設との統廃合や様々な世代や幅広く市民に活用してもらえよう、検討を進めてください。 ・地域ごとの実情に合わせた有効活用を図り、利用率の拡大、世代間や地域のつながりの強化に資するよう取り組んでください。 ・行政改革の重要課題事業第2弾で示したスケジュールに基づき、「有効活用の検討、手順書の作成、方針決定」を行ってください。
内部意見への回答		